

博物館からのお知らせ

VOL.12

◆秋の企画展「中里と小泊のくらし」開催中!

中里・小泊両地域で収集された各種資料約二五〇点を展示し、農村と漁村における生活文化を紹介します。

会期 12月24日(日)まで
休館日 毎週月曜・毎月第4木曜・祝日
入館料 小・中学生五〇円
高校・学生一〇〇円
一般二〇〇円



◆深郷田遺跡出土土偶半世紀ぶりに帰還!



30年代深郷田遺跡より出土した縄文土偶が寄贈されました。寄贈者は渡邊兼庸氏(東京在住・前国立国会図書館東洋文庫長)。昭和40年に刊行された『中里町誌』には本土偶の写真が掲載されているものの、実物は行方が知れず「幻の土偶」となっていました。

土偶は高さ一〇〇ミ、幅七五ミで上半部が欠損しています。板状土偶と呼ばれるもので、文様の特徴からは縄文時代中期後葉(約四千年前)のものと考えられます。裏には「昭和36、11、15日深郷田善導寺下より掘る輪島林蔵松坂龍彦共に掘る」と記された付箋が貼られており、出土の経緯がわかります。
渡邊氏は昭和37年深郷田遺跡を発掘調査していることから、そのときに輪島氏等から入手したものと思われる。

その後永らく東京で眠っていました。先頃偶然再発見され45年ぶりに故郷に帰還を果たしました。板状土偶は、年明けより博物館にて公開する予定です。

◆「ドゲブネ」など旧下前小学校へ引越!

町指定文化財「ドゲブネ」ならびに「イソブネ」が、小泊支所倉庫より旧下前小学校へ移動しました。ドゲブネは、長さ約六尺、幅約一尺、船首が広い独特な形態をした磯廻り用の舟で、波や風に強く揺れが少ないとされています。

明治34年船大工柳沢儀助氏によつて建造され、昭和50年代まで八十年間にわたつて活躍しましたが、退役後は「小泊の歴史を語る会」に寄贈されました。その後は転々と居場所が変わりましたが、ようやく安住の地を見出しました。同校には、漁具等の民俗資料も移転される予定です。



戸籍の窓口

(9月届出分)

お誕生おめでとう

- 奈良 利功(男・友弘) 今泉下
- 太田 瑠偉(男・徹也) 花丘町
- 敦賀 望(女・金光) 浜町

「結婚おめでとう」

- 石澤 賢(上豊岡)
- 鳴海 博子(つがる市)
- 田口 照人(五所川原市)
- 菅原 直美(上豊岡)
- 神岡 昌行(鯉ヶ沢町)
- 新岡 由香(尾別)
- 篠原 裕也(長野県)
- 今 華奈子(富野)
- 吉川 悟(青森市)
- 田中 美希(大沢内)
- 太田 幸志(つがる市)
- 横山 恵美子(向町上)
- 赤石 一樹(宮野沢)
- 鈴木 恵美(宮野沢)

お悔やみ申し上げます

- 葛西市三郎 81(五林)
- 棟方リミ 91(薄市上)
- 田中セイ 81(薄市下)
- 古川義男 68(派立中)
- 中村ミツ 73(薄市下)

人のうごき

9月末現在(前月比)	
人口	14,685人(-40)
男	7,007人(-17)
女	7,678人(-23)
世帯数	5,174戸(+2)
出生	4 / 死亡 21
転入	28 / 転出 51

記者のつばき

たのしいまちづくりフォーラムの整理券の配布は、10月30日で終了しました。ありがとうございました。どんなお話が聞けるか楽しみです。

